

平成29年度 学校自己評価システムシート (県立宮代高等学校)

目指す学校像	生徒一人ひとりの「よさ」を伸ばし、次代をたくましく生き抜くための学力と規範意識を身に付けた人間を育てる
--------	---

重点目標	1 生徒一人ひとりに見合った学習環境を提供し、基礎学力を確実に向上させる 2 生徒一人ひとりの資質を把握し、個々に目標・目的を持たせ、規律ある学校生活を送らせる 3 積極的な広報活動を行うとともに、保護者・地域・関係諸機関との連携を強化する
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力定着のための施策は充実してきている。生徒が安定した学校生活を送れる取組を継続していく必要がある。 「朝学習」を実施し、進路実現に必要な基礎学力の習得及びそのための学習習慣を育成している。 苦手科目の指名補習は効果を上げている。 スケジュール管理の考え方を浸透させるために専用の手帳を導入した。 校内の授業研修会や外部の研究発表会の情報共有等により授業改善に努めている。 	基礎学力向上のための取組を充実させ、併せて学力上位層の学力伸長のための体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎学力向上のテキストを用いて自学自習の朝学習を毎日10分間実施する。 ②これまでの取組(勉強マラソン、部活動勉強会、学習サポーターによる個別支援、授業への取組3割評価、指名補習)を継続し、改善・充実を図る。 ③1・2学年の生徒は全員スケジュール管理の手帳を活用し、学習習慣を確立する。 ④年次研修等を活用した授業研修会を年3回実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒が集中して取り組むことができたか。取組が定着したか。 ②各学期の成績不振者数が、前年度の2割減以上であったか。また、勉強マラソンへの参加者数が前年度を上回ることができたか。 ③スケジュール管理の手帳を有効活用できたか。家庭学習時間が増えたか。 ④有効な授業研修会を実施できたか。 			
2	<ul style="list-style-type: none"> 期間皆勤賞等の取組により欠席者数が減少した。遅刻者の減少に向け取り組む必要がある。 現代のリスク回避のためインターネット等の適正使用に向けた教育を充実させる必要がある。 部活動や生徒会活動の活性化により、学校の核となって活躍する生徒が増えてきている。 目的意識を持った生徒の育成と希望の進路実現のため、教育相談体制の充実を図る取組を継続する必要がある。 	全教職員で「育てたい生徒像」を共有し、目的意識・規範意識を持ち、主体的に行動できる生徒を育てるとともに、生徒の健全な学校生活を支援する体制を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒への積極的な働きかけと家庭との連携を強化することで、さらに遅刻・欠席数を減少させる。遅刻防止の取組について検討を行う。 ②スマホの適切な使用については、様々な場面で繰り返し、生徒に話して聞かせる。 ③スクールカウンセラー、巡回支援員等を適切に活用し、安心安全の確保に努める。 ④早期に進路意識を育成するとともに、進路と絡めた学習指導や生徒指導を行う。 ⑤部活動、生徒会活動への積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ①遅刻・欠席者数が、前年度の2割減になったか。 ②足並みをそろえた指導を行うことができたか。生徒指導件数が前年度を下回ったか。 ③教育相談が不登校等の未然防止に寄与したか。 ④1、2年生の進路意識が高まったか。また、3学年において大学・短大・専門学校・就職等の希望に応じた進路選択が適切に行われたか。 ⑤部活動の定着率が高まったか。 			
3	<ul style="list-style-type: none"> 宮代町唯一の高校として、中学校、町教委、商工会との連携が深まってきている。 ボランティア活動等での地域連携が充実してきている。 目的意識を持って受検する志願者が増えて、生徒募集も安定してきている。 P T Aとの連携を深め、保護者からの情報伝達により地域からの信頼を獲得する必要がある。 	保護者、地域、関係諸機関との連携を深め、積極的に情報発信し、安定的な志願状況を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ①宮代町の3中学校、町教委と学習指導、生徒指導等で連携を強化する。また、部活動での連携を進める。 ②ボランティア活動等により宮代町、自治会、商工会等との連携を充実させる。 ③生徒の活動を生かした学校説明会、広報活動を実施する。 ④部活動や学校行事等の情報をHPで積極的に発信するほか、P T A広報誌を地域の人々にも配布し、情報発信を強化する。保護者の各種学校行事・P T A行事への参加案内を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①中学校、町教委、宮代町、自治会、商工会等と連携した取組を検討し、実施できたか。 ②ボランティアや交流活動の参加数が増えたか。参加者数が、前年度より増加したか。 ③学校説明会等の参加者数が前年度を上回ったか。また、本校志願者の9割以上が学校説明会に参加したか。 ④部活動のHPの更新が増加したか。広報誌を配付できたか。行事に参加する保護者数が増えたか。 			

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	平成	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			